

アコヤガイモニタリング調査結果

(調査日：令和2年8月20日)

愛媛県農林水産研究所水産研究センター

1 調査結果の概要

- 肉質に関して、栄養蓄積状態の指標となるグリコーゲン含量について、中部・南部海域で健康の目安となる3%を下回る値が確認された。
- 貝柱の赤変個体は確認されず、赤変度合を示すa値は低かった。
- 昨年の大量へい死時にみられた外套膜の萎縮は確認されなかったが、貝殻真珠層の褐変は北部・中部・南部全ての海域の貝で確認された。
- 水温は平年と比較して、1℃以上低い状態が続いている。
- 栄養の蓄積状態の悪化がみられ、水温等の海況の変化によっては、貝の状態が変化することが考えられるので、貝の管理には注意してください。

2 調査結果一覧

漁場*1	貝の種類	グリコーゲン含量	a値	赤変個体数
		平均値(%)	平均値	
北部	日中交雑貝*2	6.4(2.7)	-1.4(-0.6)	0
中部①	日中交雑貝	3.6(4.2)	-0.3(0.1)	0
中部②	日中交雑貝	2.7(2.7)	0.9(0.4)	0
南部	日本貝	1.1(2.3)	0.6(0.4)	0
南部	日中交雑貝	3.2(3.3)	0.0(-0.1)	0
平均値		3.4(3.0)	0.0(0.0)	

*1 漁場： 北部：三浦半島以北 中部：由良半島から三浦半島 南部：由良半島以南

*2 日中交雑貝：日本貝と中国貝の交雑貝

() 内は昨年同月の値

3 調査方法

- 4月から11月まで月1回(概ね第3週)、各漁場・種類毎に20個を調査。
- 愛媛県漁業協同組合宇和島事業部が、調査日約2日前に上記漁場で採取して持ち込んだアコヤガイ母貝(満2歳)をサンプルとした。

4 調査項目および判断指標

- グリコーゲン含量(%)：アコヤガイの栄養蓄積状態を示す指標で、数値が高いほど良好。
- a値：閉殻筋(貝柱)の赤色度を示す指標で、数値が高いほど赤みが強い。
赤みを帯びた黄色で3、明らかな赤色で5以上。